

## 1. 地域農業の状況

### ○ 萩市の概要

萩市は山口県北部に位置し、東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、低地は少なく、大半を山地が占める中山間地域である。



### ○ 農業の概要

沿岸部の平坦地においては、水稻や露地野菜、柑橘等の栽培が行われ、山間部においては、水稻を中心に露地・施設野菜、果樹、肉用牛等、多彩な農業経営が行われている。

- ・総農家数 2,143戸 (R2農林業センサス)
- ・耕地面積 4,220ha (R4農林水産省作物統計)

### ○ 荒廃農地再生に至った経過

中山間地の谷間に位置する水田地帯。

地区に担い手がいないことから、20年来、地区から40分程度離れた川上地区の農業法人が耕作を行ってきたが、昨今の経営環境の悪化の影響を受け、数年前より徐々に地区内の経営面積を縮小せざるを得なくなり、集落内の農地は荒廃化してきた。

地区外（山口市阿東地区）の農家が経営の規模拡大を図るにあたって、まとまった農地を探す中で、萩市農業委員会へ相談があり、当該農地を紹介。現地確認により、川上地区への入植を希望されたため、農地所有者とのマッチングを経て、遊休農地解消緊急対策事業を活用し、農地の再生に取り組むこととなった。

活用した  
支援策

R4年～R5年 遊休農地解消緊急対策事業（国）

## 2. 地区概要

取組主体 農業者

再生面積 6.4ha

作付作物 水稻

地区名 かわかみのとろ  
川上野戸呂地区

取組年次 令和4年12月～令和5年12月

販路 消費者へ直販のほかJA等に出荷

## 3. 取組内容及び効果

### 遊休農地解消緊急対策事業を活用し、荒廃農地を解消

- 事業対象外を含め、地区内の農地6.9haを農地中間管理機構を通じて集積。
- 遊休農地解消緊急対策事業を活用し、令和4年度及び令和5年度の2ヵ年で地区内の遊休農地6.4haを解消、当該農家へ貸付を行い地区内での営農（水稻栽培）が開始された。
- 令和6年には、法人経営に移行され、今後、さらに荒廃農地の再生も含め、地区内の農地集積に取り組むこととしており、地域の担い手として活躍が期待される。



### 【解消前】



### 【解消後】

